

平成30年8月

交通企画課だより No. 8

7月末の交通死亡事故発生状況 ～資料を活用して事故をなくしましょう～



7月末全死者数	60人
高齢死者数	38人
高齢者の構成率	63.3%

交通部交通企画課

交通死亡事故発生状況について(平成30年7月末現在)

1 全国・中国地方の死者数

区 分	平成30年	平成29年	前 年 対 比	
			増 減 数	増 減 率
全 国	1,883人	1,989人	△ 106人	△ 5.3%
中 国 地 方	138人	173人	△ 35人	△ 20.2%
計	60人	50人	10人	20.0%
広 島	8人	16人	△ 8人	△ 50.0%
鳥 取	10人	13人	△ 3人	△ 23.1%
岡 山	36人	54人	△ 18人	△ 33.3%
山 口	24人	40人	△ 16人	△ 40.0%

注) △は減少を, 無印は増加を表す(以下同じ)。

【広島県の全国的位置づけ】

死者数60人～全国で死者数が多い順から11位

1位:愛知 109人, 最少:鳥取 8人

増減数10人増～全国で減少数が多い順から45位

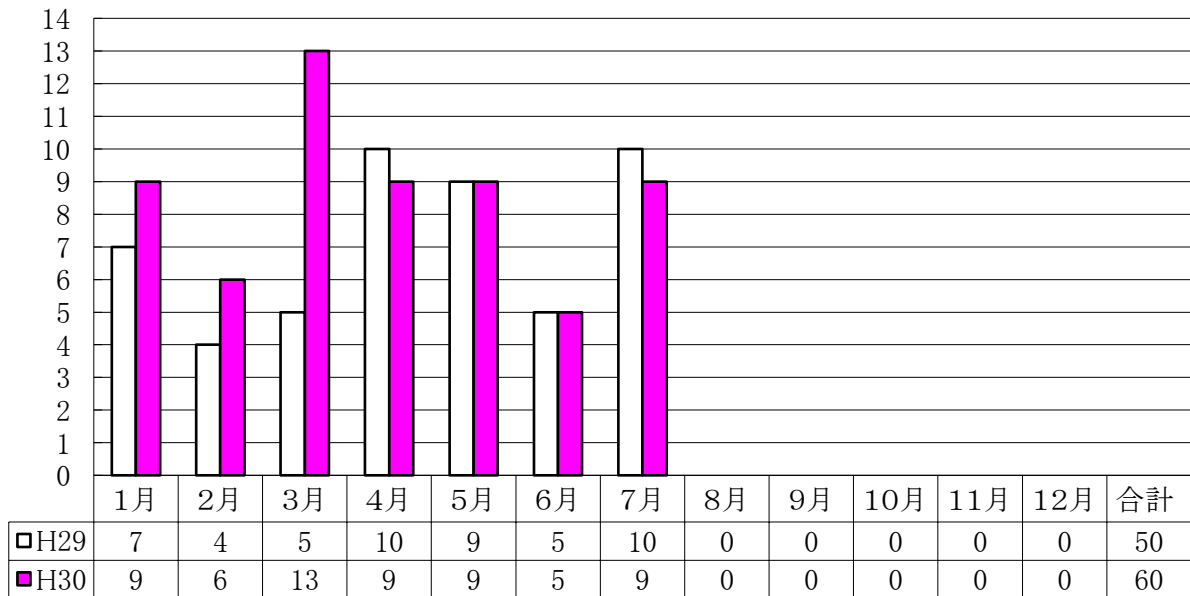
1位:愛媛 20人減, ワースト:千葉 16人増

増減率20.0%増～全国で減少率が高い順から41位

1位:京都 51.4%減, ワースト:秋田 69.2%増

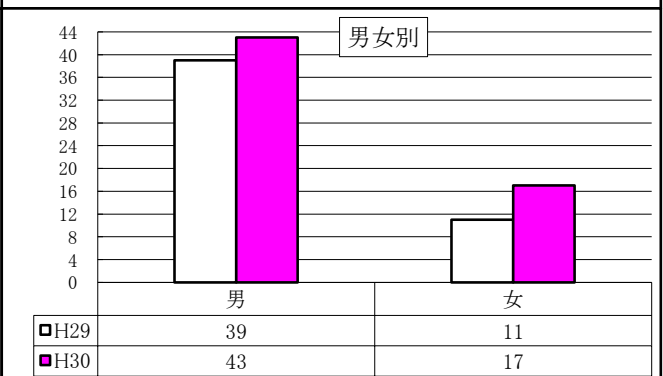
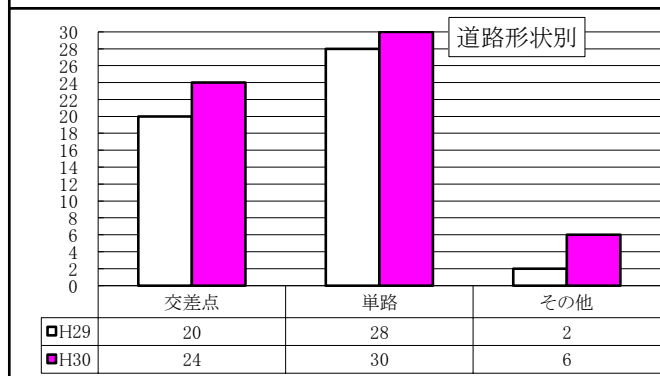
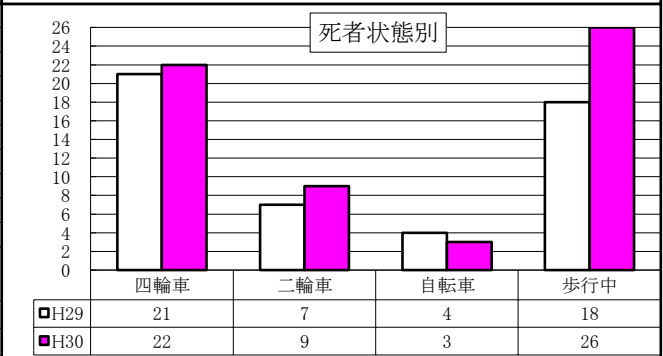
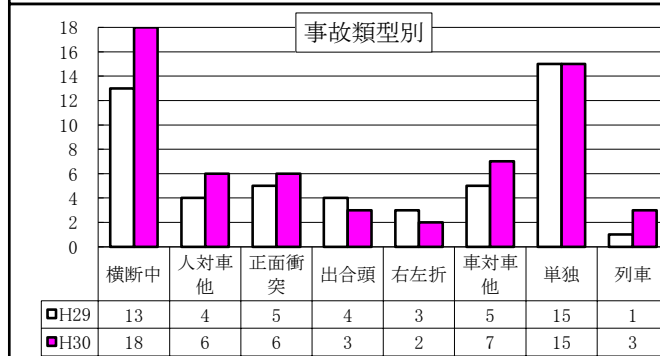
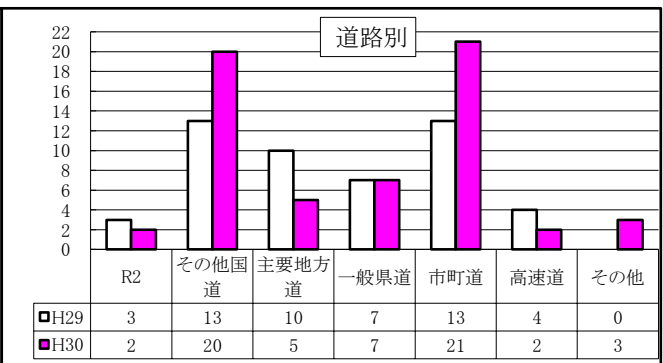
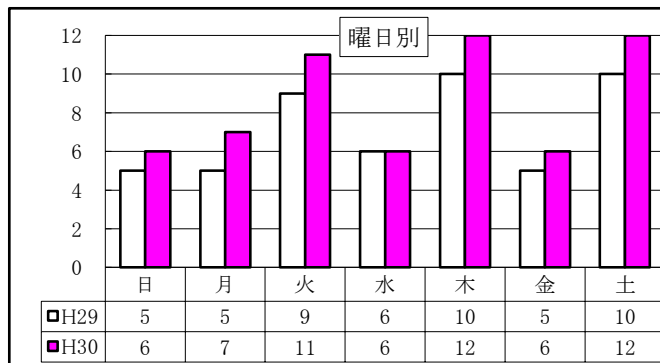
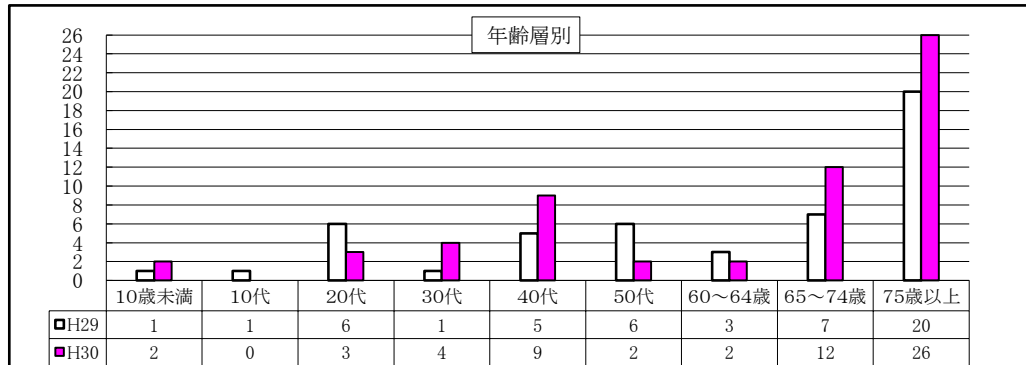
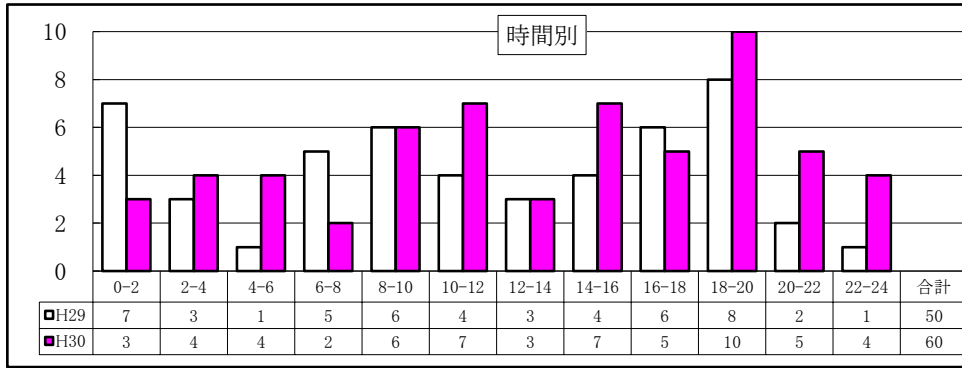
2 月別死者数の推移

※ 以下は広島県の状況



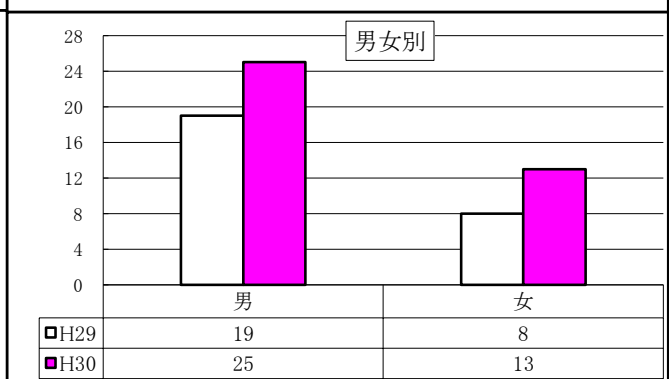
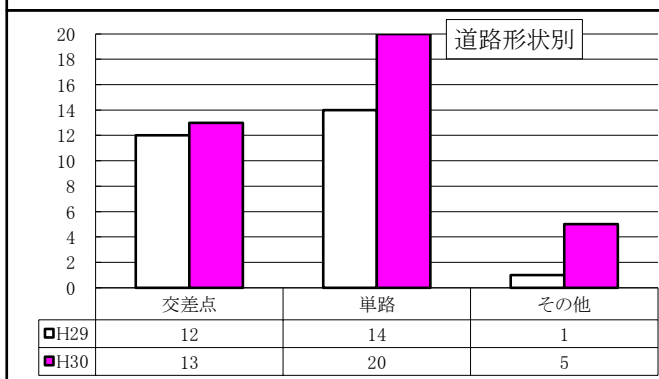
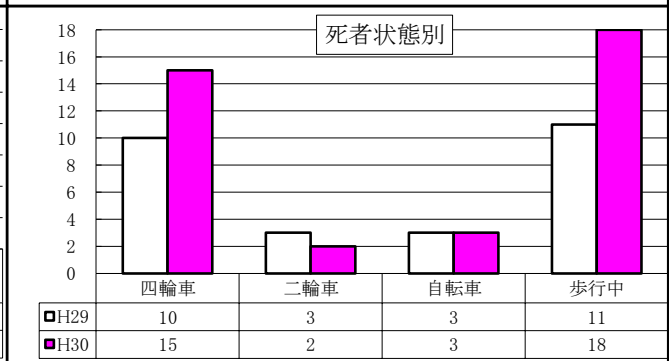
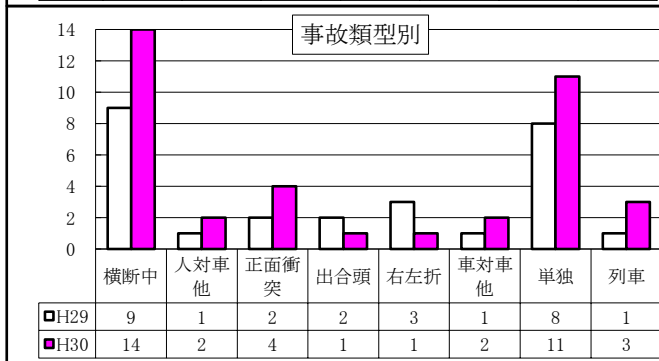
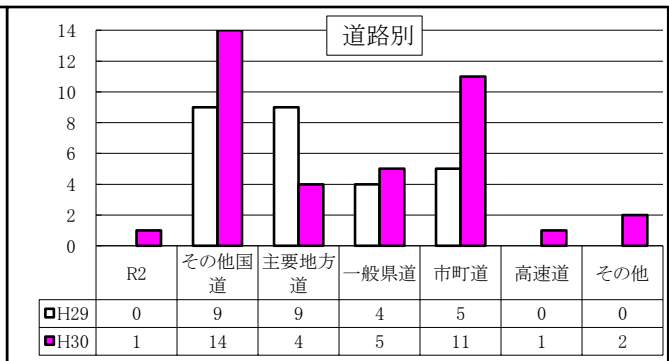
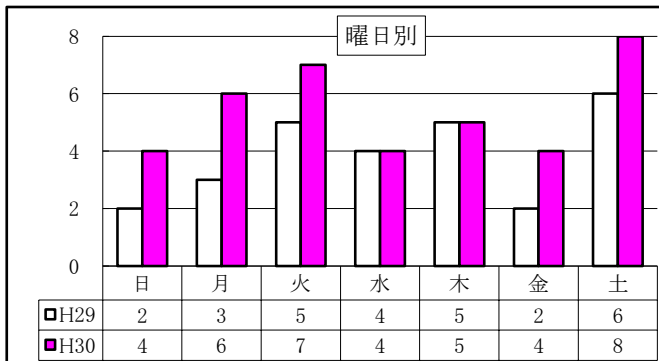
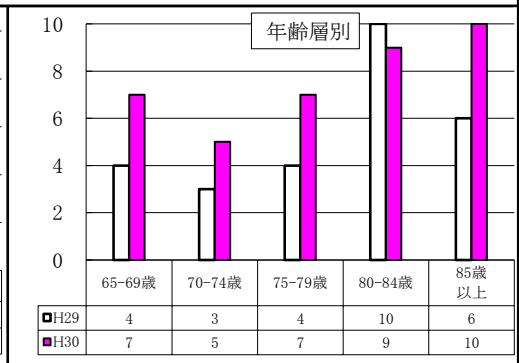
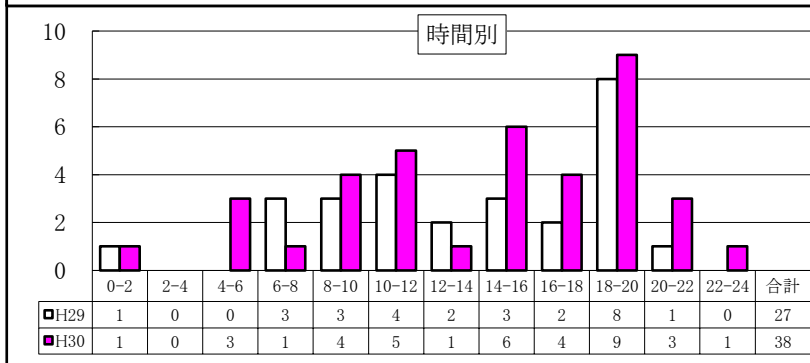
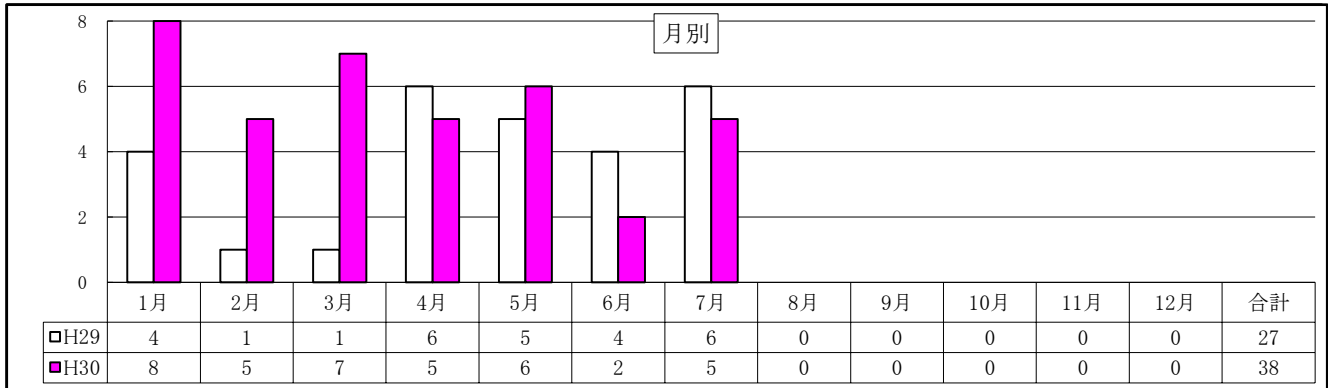
交通事故死者数

平成30年7月末現在



高齢者の交通事故死者数

平成30年7月末現在



- (1) 7月末現在の交通死亡事故の特徴（昨年同期比）
- 昨年比で死者数が10人増加（交通事故件数は減少傾向）
 - 時間帯別では、20－24時で特に増加
 - 年齢層別では、高齢者の死者が特に増加
 - 事故類型別では、「人対車（横断中）」が特に増加
 - 道路別では、「国道」「市町道」で特に増加
- (2) 高齢者が関係する交通死亡事故の特徴（昨年同期比）
- 38人死亡で11人増加（構成率63.3%）
 - 85歳以上が特に増加
 - 時間別では、4－6時、14－16時で特に増加
 - 道路別では、国道や市町道で増加

(3) 事故を起こさない・遭わないために気をつけていただきたいこと

◎ ドライバー

夏場は暑さや疲れから運転中の集中力が低下します。体調が悪い時は運転を控え、運転中に体調がおかしいと感じたら無理をせず休憩をとみましょう。

夜間は、上向きライトを有効に活用して早めに危険を発見するように心がけましょう。

◎ 歩行者

ドライバーが必ず歩行者等の存在に気付いているとは限りません。左右の安全を必ず行いましょう。

夜間外出の際は、明るい服装や反射材・自発光式LEDライトを活用しましょう。

(4) 高齢者の皆さんに気をつけていただきたいこと

◎ 運転するとき

長距離運転を控える、スピードを出しすぎない、悪天候時の運転を控える等、心身の衰えを補い危険を避ける安全運転（＝補償運転）を心がけましょう。

◎ 歩いて出掛けるとき

車より先に横断しようとせず、車が通り過ぎるか止まるのを待ってから横断しましょう。

